

防水層の維持管理上のお願い

建物には雨もれを防ぐために合成高分子系ルーフィング（合成ゴム系、塩化ビニル樹脂系、エチレン酢酸ビニル樹脂系などの防水シート）を用いて防水層が設置されております。

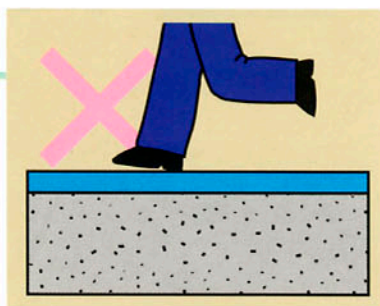
これらの防水層が長期間防水機能を損なわないように以下の事項を守っていただくようお願い致します。

1

防水層が露出している (露出防水)場合のお願い

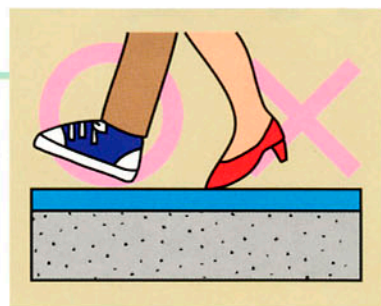


1



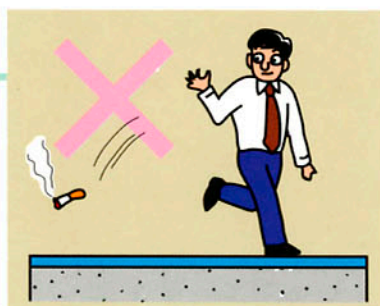
非歩行露出防水の場合、屋上または防水層の維持、点検以外の時は防水層の上を歩かないでください。点検の時においてもつぎの2.3.4項の注意を守ってください。

2



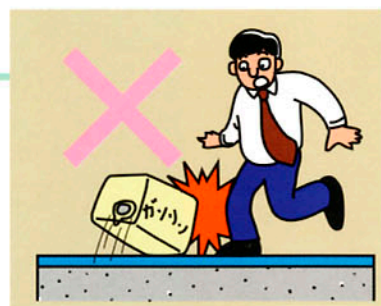
防水層の表面が雨などで濡れているときは滑りやすいので注意して歩行してください。履き物は凹凸の模様のあるゴム底などの履き物を使用してください。防水層を傷つける恐れのあるハイヒールやスパイクなどの尖った底の履き物を使用しないでください。
(非歩行、軽歩行共通)

3



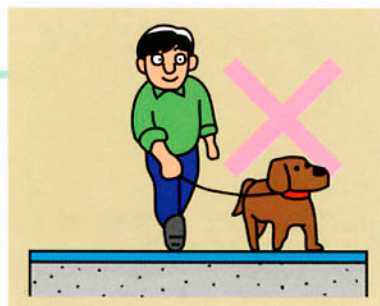
防水層を燃焼させたり変質させる恐れがありますから、防水層の上またはその付近では火気（花火、たばこの投げ捨てなど）は使用しないでください。
(非歩行、軽歩行共通)

4



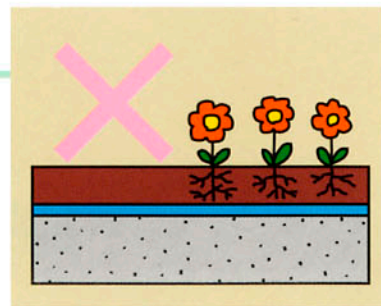
防水層の上に油、酸、アルカリ防藻剤（クーリングタワーに使用）などの薬品、ガソリン、塗料、溶剤などをこぼさないでください。防水層を変色、膨潤、劣化などさせて防水機能を損なう恐れがあります。
(非歩行、軽歩行共通)

5

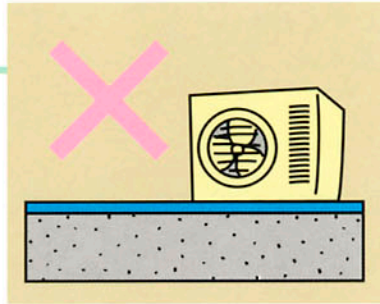


軽歩行露出防水の場合でも防水層の上ではペットの飼育をしないでください。動物が爪や歯で防水層を傷つけたり排泄物が防水層を劣化させる恐れがあります。

6



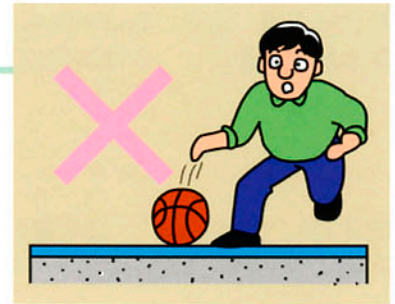
軽歩行露出防水の場合でも防水層の上に土を置き植物を植えないでください（植生用の仕様の場合を除く）。土の重量が防水層に悪い影響を与えたり、植物の根が防水層を損傷させる恐れがあります。

7

防水層の上には設計時に予定した以外の重量物を置かないでください。重量物による防水層の変形や損傷の恐れがあります。

軽いものでもテーブルやイスの様に接地部の尖っているものはゴムキャップまたはゴム板などで保護してください。

(非歩行、軽歩行共通)

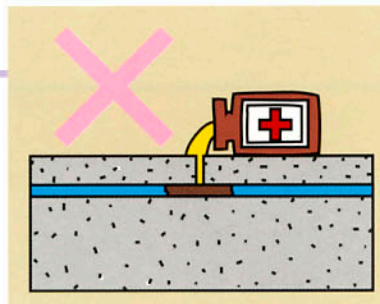
8

軽歩行露出防水の場合でも防水層の上で運動や作業をしないでください。

防水層に損傷を与える恐れがあります。

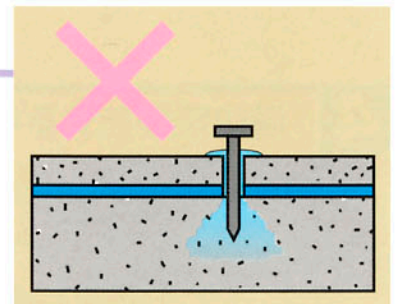
2

防水層がモルタル等で保護されている
(保護防水) 場合のお願い

**1**

防水層(保護防水)の上に油、酸、アルカリ防藻剤(クーリングタワーに使用)等の薬品、ガソリン、塗料、溶剤などをこぼさないでください。

保護層の目地部などにより浸透して、防水層を変色、膨潤、劣化などをさせて防水機能を損なう恐れがあります。

2

付属の設備や施設を設置する場合には、釘やアンカー等で保護層を貫通して防水層を損傷させる恐れがあるので、保護層の構造、厚み、載荷重を考慮して設置してください。

3 防水層の機能を長期間維持するためのお願い

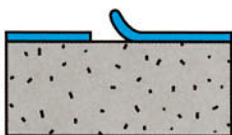
1

定期的に（2～3回／年*）屋上や防水層を傷つけないように清掃してください。特に排水溝、排水口周辺や隅部の泥や枯れ葉などを取り除いてください。防水層の洗浄には、中性洗剤以外の薬品は使用しないでください。

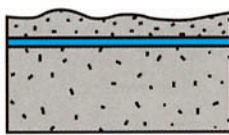
2

定期的に（1回／2年*）防水層の状態を点検してください。次のような異常を認めた場合には施工業者にご連絡ください。

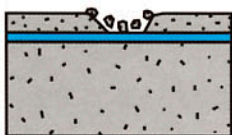
防水層の接合部が剥離している。



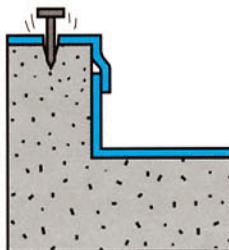
保護モルタル（保護層）に盛り上がりや欠損がある。



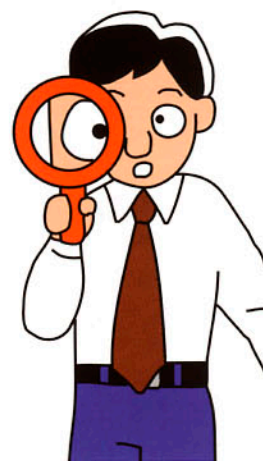
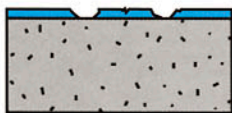
仕上げ塗料が剥離している、またはすり減って防水層が表面にでている。



押さえ金物、笠木などの取り付けが、ゆるんでいる。



防水層が破れている、防水層に穴があいている。

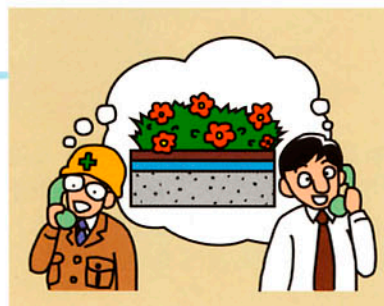


3

仕上げ塗料（メーカーの指定材料）は定期的に（1回／4年*）塗り替えることが望ましいので、工事を行った建設業者または防水施工業者へご連絡ください。（有償となります）

*「建築防水の耐久性向上技術」（国土開発技術センター発行）引用

4 増改築等をする場合のお願い



防水に関わる屋上やその周辺の増築、あるいは改築工事を行う場合、および設計時に予定した以外の用途に使用目的を変更する場合は、防水層を損傷させたり、雨水の流れが変化し雨漏れにつながる恐れがあるので、工事前に施工業者（工事を行った建設業者または防水施工業者）にご連絡ください。

また、防水層を撤去する場合は産業廃棄物として処理してください。